

第3学年国語科 学習指導案

指導者 田丸 優太郎

1 単元名 表現の工夫に着目し、考えたことを解説しよう（「故郷」魯迅 竹内好 訳）

2 単元の目標

- （1）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕（1）イ
- （2）文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）ウ
- （3）文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）エ
- （4）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 本単元における言語活動

文章を読んで考えたことや作者の表現の工夫をパワーポイント資料にまとめ、解説する。
（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C（2）イ）

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（（1）イ）	①「読むこと」において文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。（C（1）ウ） ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。（C（1）エ）	①積極的に文章の構成や論理の展開、表現の仕方などについて考え、学習課題に沿って考えたことを資料にまとめようとしている。

5 単元について

（1）教材観

本教材は、社会状況の変化による変わり果てた故郷への絶望から、新たな生活への希望を抱くまでが描かれており、人間や社会について自分の考えをもつことに適した教材である。また、登場人物同士の関係や情景描写、人物配置や場面展開が巧みに描かれ、主人公の心情の変化が鮮やかに表現されている。その巧みさ故、登場人物の言動に着目したり、人物配置の意図を考えたりするなど、様々な視点で作品を読む必要がある。また、より多くの視点で本教材を読み深め、考えを交流することで、作品を読み味わうことができる。文章の展開や表現の仕方について特徴を捉え、作者の表現に対する意図について複数の視点から考えることで、作者の表現の工夫について評価することができるだろう。以上のことから、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する力を育成するのにふさわしい教材であるといえる。

（2）生徒観

本学級の生徒は、3学年の前期に「百科事典少女」で、場面の展開や登場人物の言動を評価する活動を行った。「なぜ作者はこの表現を何度も用いているのか」「なぜ物語の展開はこの表現で終わるのか」など、作者の意図について考えることで、作品を読み深めた。これらの活動を通して、作者の意図を理解し、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する力が身につけてきた。

また、令和6年度の全国学力・学習状況調査では、問題3（4）の表現の効果について、自分の考えが伝わるように工夫する問題の正答率が*%（全国正答率49.3%）であり、無回答が*%だった。表現の効果について理解したことを、自分の言葉で相手にわかりやすく説明する力は、物語を深く読み、他者と感想を共有しながら作品の奥深さを味わうために不可欠である。そのため、文章の構成や表現の仕方について考えを広げたり深めたりする力を育成したい。

（3）指導観

本単元では、文章の構成や論理の展開、表現の仕方に着目し、作者の表現の工夫を考え解説する活動を設定している。具体的には、どのような視点で物語を読むのかにつながる問いを自分で考え、他者と協力して読み深めていく。本教材は登場人物同士の関係や情景描写、人物配置や場面展開など、着目すべき表現が多く、生徒が何に興味を示すのかは生徒によって異なる。そのため、本単元では、課題を自分たちで出し合い、何について読み深めていくのか、課題を自分自身で設定する。課題によって読み深める際の思考は異なるが、文章の展開や表現の仕方について評価するためには、複数の視点で作品を読む力が必要である。異なる視点で読み深めた者同士が考えを交流し合い、より複合的な視点で作品に向き合えるようにしたい。

学習を進める際には、ICT端末を活用し、必要な時に語句を調べたり、友人と情報を共有したりできるようにする。また、考えの過程をまとめる資料についてはデジタルホワイトボード等を活用し、考えた内容を即座に共有することができるようにする。

6 単元の指導計画（7時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法等
1	1 2	学習課題 どのような視点で作品を読み深めればよいだろう。 ・単元全体の見通しをもつ。 作者は何を表現するために、どのような工夫を凝らしているのだろう。 ～資料を作って解説しよう～ ・「故郷」全文を通読し、あらすじを整理しながら考えたい問いを出し合う。 ・出し合った問いから、自分で読み深めていく問いを設定する。 まとめ これまでの学習で身に付けてきた視点を生かして読み深めていく。 例・登場人物の設定の仕方 ・場面同士のつながり ・情景描写、比喻表現	○			知①：新出語句や難語句をワークシートにまとめ、つまづいている生徒には、教師側から語句を提案し語彙を増やすことできるようにする。 【ワークシート、観察】 ○ 態①：学習の見通しをもてないでいる生徒には、取り組みやすい課題を提示することで、イメージをつかむことができるようにする。 【振り返りの記述】 ◎ 思①：文章の構成や表現について注目しているかを見取る。表現上の特徴に気付くことができないでいる生徒には、既習作品を取り上げたり、初発の感想と関連付けたりすることで視点を焦点化することができるようにする。 【ワークシート、観察】

2	3 4 本時	目標：文章を読んで考えたことや作者の表現の工夫について考えたことを資料にまとめる 学習課題 作者は何を表現するために、どのような工夫を凝らしているのだろう。 1 取り組む課題を整理し、学習の見通しをもつ。 【内容に関する問い】 - なぜ私はルントーの心を神秘の宝庫だと感じたのか。 - なぜ私はルントーに会った際何も言えなかったのか。 - 私はホンルとシュイションに何を感じたのか。 「希望」「道」とは何か 【表現の効果に関する問い】 - ヤンおばさんはなぜ登場するのか 「月」の役割は何か。 - 情景描写によって伝えたいことは何か。 2 問いについて意見を交流しながら読み深める。 - 問いについての考えを共有する。 - 交流で得た気づきを整理する。 まとめ 故郷や周囲の人の変化に絶望する様子や、次世代への新たな希望を比喩表現や情景描写を用いて効果的に表現している。			- 本時の学習や流れを確認し、学習の見通しをもつことができるようにする。 - 課題ごとにホワイトボードを用意し考えたことをその場で共有することができるようにする。 - 問いごとにブースを作り、対話を通して考えを深めることができるようにする。 思②：文章を読んで自分の考えを広げているかを見取る。つまりいている生徒には、具体的な課題を提示し、複数の場面を比較して考えることができるようにする。 【ワークシート、観察】 知①：理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【作成資料の分析、観察】 思①：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【作成資料の分析、観察】
3	5 6	学習課題 交流を通して得た気づきは何だろう。～交流会をしよう～ - 文章を読んで考えたことや、作者の表現の工夫について考えたことを資料にまとめる。 - 作成した資料をもとに交流し、解説し合う。 - 交流を通して得た新たな気づきをスライドに追加する。 まとめ - 情景描写や比喩表現に着目しながら読むことで、物語を深く読み味わうことができる。			様々な視点で読み深めた生徒でグループを作り、互いに考えたことを解説し合えるようにする。 ◎ 態①：積極的に文章の構成や論理の展開、表現の仕方などについて考え学習課題に沿って考えたことを資料にまとめようとしている。 【作成資料の分析、振り返りの記述】

	7	学習課題 これからの学習に生かしていきたいことは何だろう。 ・前時の交流で得た新たな視点や、作品の背景などについて考えを深めたことを共有する。 まとめ 作者の表現の工夫や作品の背景に着目すると読み深めることができ、自分の考えをもつことにつながる。 ・単元全体の学習を振り返る。 振り返り 文学的な文章を読み深めるためには、登場人物の設定、情景描写、比喻表現等やその効果などに着目したり、作品の背景などについて自分の考えを深めながら読むことが大切である。		◎	思②：文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について自分の意見をもっている。 【作成資料の分析、振り返りの記述】
--	---	--	--	---	---